



創立五十周年 1967-2017

# 青森総合卸センターニュース



編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2017(平成29)年11月30日

## 半世紀の節目を祝う 組合創立50周年記念式典



西理事長による50周年宣言



式典冒頭でオープニングムービー上映

協同組合青森総合卸センターでは、組合創立50周年を記念式典と祝賀パーティーを開催。組合員、来賓、関係者約250人が出席し、半世紀の節目を盛大に祝った。

式典では、はじめにオープニングムービーとして、ドローンを使い1年がかりで撮影した四季折々の問屋町の映像を上映。次に工藤理事が開会を宣言した。

つづいて、西理事長による式辞(50周年宣言)が行われた。50周年宣言では映像やスライドを使用し、組合設立から現在までの50年を青森市を俯瞰した地図で振り返ったほか、新たに再定義した組合事業セグメントについて紹介した。

西理事長は「当組合では、経済的価値創出事業、社会的価値創出事業、文化的価値創出事業」の3つの価値創出事業のトライアングルにより卸団地のエリアマネジメントを行い、卸業の物流拠点を中核とし、小売・サービス業や文化施設も備えた青森市の第二副都心ともなる『ビジネスパーク』を目指す」と50周年宣言を締めくくった。

次に、来賓を代表して中小企業庁次長の吉野恭司氏、中小企業基盤整備機構理事の高田坦史氏、青森県知事の三村申吾氏、青森市長の小野寺晃彦氏(前多副市長代読)より

祝辞が述べられた。吉野次長は祝辞の中で、中小企業が抱える事業承継や人手不足の問題に触れ、更なる中小企業支援強化を図っていくと述べ、当組合に対しては「引き続き卸団地の機能強化を図り、全国の卸団地の先導役として期待する」と語った。

高田理事長からは「人口減少や経済のグローバル化など取り巻く環境が大きく変化している中、青森総合卸センターには商業集積地としてのメリットを活かし、地域経済の牽引役となって欲しい」とエールが贈られた。

三村知事は「共同事業の充実・強化により『問屋町ブランド』確立を図り、青森県の流通業のリーダーとして経済活性化に協力を願う」と述べた。

来賓祝辞につづき、表彰式が執り行われ、組合発展に功労のあった役員に対し、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、青森県、青森市、全国卸商業団地協同組合連合会から表彰状が贈られた。また組合でも、歴代の正副理事長を輩出した組合員や、組合創立以来、問屋町で営業を続け当組合発展に尽力した組合員を表彰。永年勤続従業員を代表して組合員従業員2名にも表彰状を贈呈した。

【4面につづく】



青森県 三村知事



中小企業基盤整備機構 高田理事長



中小企業庁 吉野次長

新規組合員の加入と承認  
第5回理事会

第5回理事会が10月30日(月)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また、事務局からは青森県流通団地連絡協議会第31回通常総会の開催について報告した。

主な案件審議は次のとおり  
案件一、組合員の施設建築について  
案件二、組合員施設の賃貸並びに新規組合員加入承認について  
案件三、つなぎ資金の借換について  
案件四、2017年度第6回理事会の日程等について

青森市南部の健康づくりの  
拠点を目標として

10月3日(火)から6日(金)の4日間、問屋町会館2階大ホールにて集団健康診断が行われ、組合員や隣接する中央卸売市場の従業員ら356名が受診した。今年度の集団健康診断は2回行われ、700名以上が受診。また、一問屋町地区健康診断」と銘打った一般向けの健康診断も計3回実施され、50名近くが健診を受けた。

健康診断の会場には歯科衛生士による歯の健康相談コーナーや体組成計、血管年齢計による健康チェックコーナーが設けられ、多くの受診者が

団地内清掃・美化活動実施

今年度最後となる問屋町合同清掃が10月19日(木)に198名が参加して行われた。雨天延期が続くなど天候にはあまり恵まれなかったが、参加企業数118社、全7回で1,473名(1回当たり210名)が参加し、ごみ拾いや歩道の草刈りなどを実施し、団地内の美化が図られた。

また、10月29日(日)には問屋町緑のボランティア隊による今年度最後の活動が実施され、隊員とその家族26名が参加した。今回は、問屋町北側枝線道路及び第二問屋町幹線道路・枝線道路の下枝刈りと歩道の落葉集めを実施。

利用し、好評であった。

また、同じく10月にはインフルエンザ集団予防接種も実施。問屋町会館で行われていた受診者は回を重ねるごとに受診者が増加し、7年目となった今回は886名が受診した。今年度から開催回数も



インフルエンザ集団予防接種

同隊の今年度の活動は計3回行われ、延べ96名が参加し、団地内の景観美化推進に向けて汗を流した。

そのほか、10月2日(月)には問屋町に隣接する(株)ユアテックとその関連会社が地域清掃活動を実施。138名が



問屋町緑のボランティア隊

1日増やし3日間で行われ、申込みも30分区切りで受け付けたことにより、当日は受診者を持たせることもなく、スムーズに進められた。組合では短命県返上に貢献すべく、青森市南部の健康づくりの拠点として積極的に健康事業に取り組み、企業活動を支える。

今年度の街頭指導終了  
青森交通安全協会問屋町支部

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)が実施する問屋町交通安全街頭指導が10月24日(火)の開催をもって今年度の全日程が終了した。計4回の活動には延べ329名が参加し、信号待ち

参加し、同社周辺から問屋町大通りまでの広範囲にわたってごみ拾いが行われた。同社は問屋町緑のボランティア隊の活動にも多数参加するなど、問屋町の景観美化活動において、大きな存在となっている。



ユアテックによる清掃活動

のドライバーに運転中の携帯電話・スマートフォンの使用禁止や飲酒運転禁止などを呼びかけるビラを配布すると共に、シートベルトの着用調査を実施。また、今年度から横断幕を作成し、活動時に掲げ、交通事故撲滅に取り組んだ。



横断幕を掲げ安全運転呼びかけ

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事 青森支店

青森市問屋町2丁目15-9  
電話 (017) 738-4551



灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10

TEL017-762-3866

ESSO Express MOTOR

青森市第二問屋町4-10-26

エクスプレス問屋町SS

TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップエッソ問屋町店

TEL 017-729-1470

住宅設備機器・冷暖房機器  
住宅関連商品総合卸商社

株式会社 金辰商事

本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111  
支店 仙台 営業所 弘前・盛岡・八戸

# 業務報告

## …主要事項…

- 14日▽第18回青友会・同友会 合同ゴルフコンペ
- 16日▽金融審査会
  - ▽県中央会中小企業団体 県大会
- 17日▽インフルエンザ集団予防接種①
- 19日▽市産業振興財団三役会
- 20日▽市職域健康づくり部会
- 20日▽県中央会上期情報連絡員会議
- 23日▽組合創立50周年記念式典・祝賀パーティー・ピアニチャリティコンサート
- 24日▽安協問屋町支部第4回
- 27日▽東北卸団地連絡協議会事務局女子職員研修会
- 28日▽大星神社敬神会総会
- 28日▽青森公立大学フイールドスタディ
- 29日▽第3回緑のボランテイヤ隊
- 30日▽第5回理事会
- 10月
  - 2日▽(株)ユアテックボランテイヤ清掃
  - 3日▽第2回集団健康診断(～6日)
  - 11日▽安協問屋町支部第2回役員会
  - 11日▽青森商工会議所3部会合同視察研修会
  - 12日▽第3回問屋町従業員モーター会議
- 14日▽街頭指導
- ▽インフルエンザ集団予防接種②
- ▽津軽海峡ブランド商品開発実行委員会
- 25日▽県中央会中小企業団体全国大会(～27日)
- 27日▽市産業振興財団理事会
- 27日▽東北卸団地連絡協議会事務局女子職員研修会(～28日)
- 28日▽大星神社敬神会総会
- 28日▽青森公立大学フイールドスタディ
- 29日▽第3回緑のボランテイヤ隊
- 30日▽第5回理事会
- …問屋町ビジネススクール…
- 4日▽商業簿記3級取得講座⑤
- 5日▽総務力向上研修(生産性向上編)
- 10日▽ポジティブな職場づくり
- 11日▽商業簿記3級取得講座⑥
- 12日▽流通基礎講座
- 17日▽総務力向上研修(マーケティング編)
- 17日▽品質向上編
- 18日▽商業簿記3級取得講座⑦
- 24日▽給与実務の基礎の基礎(労基法編)①
- 25日▽商業簿記3級取得講座⑧
- 26日▽給与実務の基礎の基礎(労基法編)②

## 経済雑感

第七十九回

弘前大学大学院医学研究科 特任教授 中路 重之

### 健康づくりと経済(その一)

第39弾となる今回の経済雑感、弘前大学大学院医学研究科の中路特任教授にご寄稿いただいた。

青森県と言えば短命、そして短命県返上である。短命県という一種忌まわしい語感に辟易している県民も多いだろうが、筆者はそれのような末節の感情は乗り越えていかねばと心に決めていた。短命県の本質は、男女ともあらゆる年代の死亡率が高く、あらゆる死因(病气)での死亡率が高く、その原因は、生活習慣



弘前大学大学院 医学研究科 特任教授 中路 重之 氏

が悪く、健診受診率が低く、病院受診が遅く、加えて通院状況が悪いというあらゆる客観的数字の中にある。なかでも40から60歳代までの、男性の働き盛り世代の死亡率が長野県の1.5倍を死しているという事実は、まごうことない社会問題である。そして、現実には男女とも数十年の長きわたる最短命県である。読者の皆さんにも胸に手を

に、短命対策、健康づくりはあらゆる世代に向けられなくてはいけない。そのための場は、子どもへの健康教育(学校)と職場・地域での健康教育と健康づくり(職場)である。正しい知識をつけて、健康意識を高め、そして行動に移す。

当てる自らに問いかけていた。大の大人がなぜかこれを決済できないのか?と。筆者もまたしかりである。今青森県では短命県に向けて県を挙げての取り組みが繰り広げられている。前述の短命の分析でも明らかかなよう

できないからである。社会全体で取り組む必要がある。思い起こしてほしい。50年間で50%も低下した我が国成人男性の喫煙率を。また、しょっぱいものを食べた時「これは体に悪いぞ」と思わせてしまうくらいに刷り込まれた減塩

感覚を。これらは、喫煙や食塩と健康との関係を突き詰めた科学の勝利でもあるが、結局はそれを浸透させた全体の動き(キャンペーン)の勝利である。しかし、文明の進歩は健康づくりと逆行する。人間同士の交流の機会や歩行機会を奪いつつあるIT社会、肥満を助長し続ける飽食社会。健康づくりはいつの世も難所だらけだ。したがって、これまでの「タバコを吸うな」「大酒注意!歩きましょう」だけの健康づくりでは全体を盛り上げることはできない。これまでの健康づくり活動が広がらなかつた理由もここにある。そのキーワードこそが、経済である。(つづく)

株式会社

# アイサイン

●デザイン ●かんぱん ●モニュメント ●シルクスクリーン

[本社] TEL 0172-62-5508 FAX 62-5516 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢字西花園82-1 URL <http://www.ai-sign.com>

問屋町事業部 TEL 017-729-8787 FAX 729-2099 〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2-12

## RAB開発株式会社

建築設計・監理/環境整備計画コンサルタント  
情報設備・通信システムの企画、設計、施工

青森市第二問屋町3丁目2番35号  
TEL 017-739-1666 FAX017-739-1664

<http://www.rabkaihatu.co.jp>

あなたと、コンビに、

## FamilyMart

★ファミリーマートでは、店舗運営を行って頂く、仲間を募集しております

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会 正会員

株式会社ファミリーマート <http://fc.family.co.jp> 検索

お問い合わせ・資料請求は <http://fc.family.co.jp/m/>

0120-01-7735

0120-01-7735

0120-01-7735

らーめんはちもり

青森市問屋町2-10-3  
TEL 017-752-9215

【営業時間】  
[平日] 午前10時～午後3時/  
午後4時～午後7時  
[日・祝日] 午前10時～午後3時  
【定休日】 毎週月曜日

問屋町東口  
サークルK  
らーめんはちもり

組合創立50周年記念式典・祝賀パーティー

【一面からつづく】

最後に、商工組合中央金庫の稲垣副社長から、当組合の永年にわたる組合員支援事業を讃え、感謝状が贈られた。式典は大平理事の閉会の言葉で終了した。

式典終了後には会場を移し、祝賀パーティーを催した。弦楽四重奏のウエルカム演奏ではじまったパーティーでは、柳谷副理事長のあいさつの後、



あいさつする柳谷副理事長



雪田理事に表彰状が贈られる



祝賀パーティーには組合員や来賓ら多数出席

● 間屋町創業組合員表彰◇丸大堀内(株) ◇ 株小野俊次商店 ◇ 株丸毛最上商店 ◇ 和田ゴ

● 歴代正副理事長組合員表彰 ◇ 株角弘(初代理事長 後藤栄一郎) ◇ 丸大堀内(株) (第二代理事長・堀内幸八、第八代副理事長・堀内琢夫) ◇ 丸本田中商店(第五代理事長・田中虎之助) ◇ 株元木商店(第七代理事長元木一純) ◇ 株神山(第十代副理事長・神山昇)

◆ 中小企業庁長官表彰◇理事長・西秀記 ◆ 中小企業基盤整備機構理事長表彰◇理事・雪田清紀 ◇ 理事・工藤正博 ◆ 青森県知事表彰◇副理事長・佐治隆雄 ◇ 専務理事・藤本和夫 ◇ 理事・佐々木聡 ◆ 青森市長表彰◇副理事長・柳谷章二 ◇ 理事・江渡文隆 ◆ 全国卸商業団地協同組合連合会会長表彰◇理事・石田憲久 ◇ 理事・木村英敬 ◇ 理事・事務局長 赤坂晃 ◆ 協青森総合卸センター理事長表彰

● 組合員永年勤続従業員表彰 (受賞者代表) ◇ 株吉田産業 小笠原悟 ◇ 正善商事(株)・齋藤良子



大好評だった大間マグロ解体ショー



乾杯するパーティー出席者



ピアノチャリティーコンサート

岩崎氏は脳性麻痺により四肢体幹機能に障害を抱えながらも母との連弾により世界各地で演奏活動を行う。コンサートでは「美しき青きドナウ」や「一輪の花」など全8曲を演奏。聴衆は岩崎氏が奏でる優しい音色に酔いしれた。当日は会場に募金箱を用意。来場者から多くの募金が寄せられ、集められた募金は青森市社会福祉協議会に寄付する。

式典同日には、式典・パーティーに先立ち、ピアノリストの岩崎花奈奈氏による『ピアノがくれた希望』と題したピアノチャリティーコンサートを開催。式典と同会場で開催されたコンサートには組合員従業員や青森中央短期大学の学生、一般市民を合わせ、134名が来場した。

美しいピアノの音色に感動 チャリティーコンサート

編集後記 組合創立50周年記念式典はお陰さまをもちまして無事挙行されました。当日ご出席いただきました皆様、心からの感謝をいたします。10月23日の式典当日は、青森を台風が直撃しました。飛行機も欠航の中、遠くは長崎から札幌まで、前泊までされてご出席いただきました遠来のご来賓には、深甚より拝謝をいたします。今回の編集後記は50周年の裏話を紹介します。このたびの組合創立50周年は、二度とない半世紀記念で準備には一年以上の時間を費やしてきました。10月23日は「組合創立記念日」でもあります。これまで過去に開催されました同日の周年行事は、一度も天候に恵まれなかったことがありませんでした。それが今回の台風襲来です。式典の開催自体が危ぶまれる事態でした。台風に加えて式典前日は衆議院選挙の投票日でした。選挙の結果次第では、御来賓のスケジュールに影響の出る恐れもあり、式典当日の新聞広告も霞む恐れもありました。正直などところ、式典裏方部隊は、ほんとんどホホ状態、神仏のご加護にスガルばかりでした。例えば「式典ができなかったら?」「来賓・組合員に欠席者が続出?」「式典の被表彰者が欠席?」「授章者が欠席?」「チャリティーコンサートにお客が来なかったら?」心配は限りありませんでした。実際、授章者のお一人が新幹線の遅れから、遅刻を余儀なくされました。しかし、結果的には、予定されたご来賓・組合員は、ほぼ全員のご出席をいただきました。最後に組合職員・関係スタッフの頑張りへ感謝します(藤本)